

平成28年度事業報告

評議員会

- ・平成28年4月21日(木) ・評議員の辞任に伴う補欠選任、役員及び評議員の報酬等に関する規程の一部改定(書面議決)
- ・平成28年5月31日(火) ・平成27年度事業報告及び計算書類及び財産目録の承認、
・理事及び監事の選任、評議員の選任
- ・平成28年12月27日(火) ・理事の辞任に伴う補欠選任(書面議決)

理事会

- ・平成28年4月11日(月) ・評議員の辞任に伴う補欠選任及び役員及び評議員の報酬等に関する規程の一部改定に係る評議員会招集(書面議決)
- ・平成28年5月13日(金) ・平成27年度事業報告、計算書類及び財産目録の承認、
・評議員会の招集、印章取扱規程(案)施行
- ・平成28年6月3日(金) ・理事長の選定、副理事長の選定、専務理事の選定(書面議決)
- ・平成28年12月19日(月) ・理事の辞任に伴う補欠選任に係る評議員会招集(書面議決)
- ・平成29年2月8日(水) ・出捐市町の離脱(江南市、愛西市、大口町)
・平成29年度事業計画及び収支予算、他

委員会

①運営改善検討委員会

- ・平成28年7月14日(木) ・事業の運営・実施状況、課題の抽出・整理
- ・平成28年8月8日(月) ・3P事業、2A事業、貸館事業の検討
- ・平成28年8月29日(月) ・事業の方向性、キーワード、組織・運営体制
- ・平成28年9月20日(火) ・意見書(案)の検討
- ・平成28年10月3日(月) ・意見書(案)のまとめ

②事業評価・事業企画委員会

- ・平成28年5月27日(金) ・尾州ブランドの再構築
- ・平成28年9月26日(月) ・運営改善検討委員会、尾州ブランディング
- ・平成28年12月5日(月) ・平成28年度事業中間報告、平成29年度事業計画(案)

③事業運営委員会

- ・平成28年12月22日(木) ・平成28年度事業中間報告、平成29年度事業計画(案)

★公益事業

PRODUCT (売れるものづくり)

プロダクト事業 (22,020,942円)

- 1 モノづくりプロジェクト (11,466,180円)

トレンド情報発信企業(仏:ネリーロディ社)やJFW((一社)日本ファッション・ウィーク推進機構)のトレンドコーディネーターと提携し、新商品開発(素材開発)を行った。

◆国内向け・・・16社(秋冬・春夏)

開発生地：秋冬用(H28.10月194点)、春夏用(H29.4月197点)

◆海外向け・・・5社1団体(計7社)(秋冬)

開発生地：秋冬用(H28.9月353点)

(1) トренд情報の活用

トレンド発信企業のネリーロディ社(仏)のトレンド情報により、セミナー等を通じて、企画開発、モノづくりを支援した。

(2) マーケット情報の活用

アパレルマーケティング企業と提携し、セミナー等で最新のマーケット情報を提供し、顧客基点の売れるモノづくりを支援した。

2 ジャパン・ヤーン・フェア(JY)の開催(9,134,618円)

「糸」の展示会を開催することにより、川上企業と川中企業の出会いの場を創出し、素材からの差別化商品の新開発を支援した。

◆会期：平成29年2月22日(水)～24日(金)

◇会場：一宮市総合体育館DIADORAアリーナ

◇出展者：原糸メーカー及び糸の取扱業者等53社

◇来場者：4,715名

3 異業種との商品開発支援(564,438円)

特別支援学校と協力企業、あいち産業科学技術総合センター尾張繊維技術センターの連携により、福祉向け商品開発(フォーマルスーツ(男子生徒)、浴衣(女子生徒))の支援を行った。

4 ファッション・テクノ工房(855,706円)

「柄シミュレーションソフト」を活用し、織物の企画・試作を支援した。

◆延べ95社512件

PERSON (人材育成)

パーソン事業(15,992,553円)

1 繊維産業人材育成セミナー「尾州インパナ塾」(2,586,971円)

大学、尾張繊維技術センター、FDC匠ネットワーク等との連携を図り、産地の将来を担う人材育成を図った。

◆期間：平成28年4月9日(土)～平成29年2月14日(火)

◇受講者：18名(正規受講者16名、部分受講者2名)

2 各種セミナー(1,152,690円)

(1) ファッショントレンドセミナー(年2回)

モノづくりにおける企画開発に活用するため、トレンド発信企業であるネリーロディ社(仏)のファッショントレンド情報を提供した。

◆期日：平成28年6月3日(金)

◇テーマ：「2017/18秋冬ファッショントレンドセミナー」

◇講師：(株)ネリーロディ・ジャポン 城山 敦子 氏

◇会場：FDC

◇受講者：44名

◆期 日：平成28年11月18日（金）

◇テーマ：「2018 春夏ファッショントレンドセミナー」

◇講師：(株)ネリーロディ・ジャポン 城山 敦子 氏

◇会場：FDC

◇受講者：47名

(2) マーケットセミナー（年4回）

顧客基点で分析する、アパレルのマーケット情報を提供した。

◆期 日：平成28年4月15日（金）（受講者36名）、7月29日（金）（53名）
11月11日（金）（41名）、平成29年2月10日（金）（58名）

◇講師：(株)プレール 代表取締役 栗山 志明 氏

◇会場：FDC

(3) 技術セミナー

I 繊維技術セミナー

◆期 日：平成28年7月8日（金）

◇テーマ：①「バイオポリウレタンを用いた天然繊維強化樹脂の開発」

◇講師：尾張繊維技術センター 技師 伊東 寛明 氏

◇テーマ：②「衣料用途の機能性繊維の開発」

◇講師：倉敷紡績株式会社 技術部 部長付 勝圓 進 氏

◇テーマ：③「衣環境に関する数値解析と感性評価」

◇講師：信州大学 繊維学部 准教授 堀場 洋輔 氏

◇会場：FDC

◇受講者：41名

II 研究成果普及講習会

◆期 日：平成29年3月21日（火）

◇基調講演：横編機及びその周辺技術における最新の技術動向について

◇講師：(株)島精機製作所 トータルデザインセンター

開発グループ 課長 本田 寛文 氏

◇テーマ：ヘルスケア用ウェアラブルシステムの開発・オーダーメイドサポーター
設計システムの開発・炭素繊維編物技術を活用したCFRP安全帽の開発
・羊毛繊維の白色度向上に関する研究

◇講師：尾張繊維技術センター職員

◇会場：尾張繊維技術センター

◇受講者：49名

(4) 新規採用者向けセミナー

◆期 日：平成28年6月16日（木）

◇テーマ：「素材と糸」「染色と仕上げ」「織物とニット」などの基礎知識
及び施設見学

◇講師：尾張繊維技術センター職員

◇会場：FDC、尾張繊維技術センター

◇受講者：46名

(5) 岐阜県繊維デザイン協会セミナー

I デザインセミナー

◆期 日：平成 28 年 11 月 10 日（木）

◇テーマ：2017 秋冬・トレンドMDを探る

◇講 師：(株)TCカンパニー（エスモード・ジャポン京都校）十三 千鶴 氏

◇会 場：岐阜毛織会館

◇受講者：77 名

II トrendセミナー

◆期 日：平成 29 年 3 月 3 日（金）

◇テーマ：2017/18 秋冬素材傾向の総括&2018 春夏素材傾向

◇講 師：OFFICE KURUMA 車 純子 氏

◇会 場：岐阜毛織会館

◇受講者：81 名

(6) 特別講演会

◆期 日：平成 29 年 3 月 30 日（木）

◇テーマ：繊維産業の現状と課題

◇講 師：経済産業省 製造産業局 生活製品課 企画官 矢野 剛史 氏

◇会 場：FDC

◇受講者：52 名

3 学生のための人材育成（8,476,774 円）

次世代を担う学生に繊維産業の魅力と興味をつなげ、地場産業の人材の確保を図った。

(1) 翔工房

学生アイデア等を基に、「FDC 匠ネットワーク」の技術指導により、学生自身が糸から生地を製作し、その生地を用いてアパレル製品にすることにより、ものづくりを通じた人材育成を図った。

◆期 間：平成 28 年 5 月 19 日（木）～29 年 2 月 24 日（金）

◇受講者：25 名（大学院 1 校、大学 4 校、短期大学 1 校、専門学校 8 校）

◇講 師：匠ネットワーク（16 名）

(2) インターンシップ

ファッション産業を担う学生を対象に、繊維産業の魅力を伝えることにより、地場産業への人材確保を図った。

◆期日及び人数：平成 28 年 8 月 17 日（水）～23 日（火）大学 3 年生 2 名

平成 29 年 2 月 20 日（月）～24 日（金）大学 3 年生 4 名

(3) 学生産地研修会

学生を対象に、紡績、製織、染色整理等の工場見学を行い、尾州産地やファッション産業について研修した。

◆期 日：平成 28 年 8 月 4 日（木）・5 日（金）

◇内 容：繊維関連講座及び工場見学（紡績、製織、染色整理）

◇受講者：30 名（大学院 1 校、大学 6 校、短期大学 1 校、専門学校 10 校）

(4) 素材講座

◆期 日：平成 28 年 6 月 20 日（月）

◇テーマ：尾州産地のものづくり

◇受講者：70名（文化学園大学）

4 尾州の匠 ものづくりリレー事業（3,776,118円）

織布工場を借上げ、工場主により、実践的な製織の技術指導を行い、自らテキスタイルの企画・製造を行う人材育成を図った。

◆期間：平成28年9月～平成29年3月

◇受講者：3名

PROMOTION（ビジネスチャンスの創出）

プロモーション事業（64,528,290円）

1 東京展の開催（30,894,157円）

モノづくりプロジェクト・チームにより、ファッション・ビジネスの中心地である東京市場において、アパレル等の川下企業へ自ら提案し、販路の開拓、市場ニーズの把握を推進した。また、秋には、ヤーン企業とも協力し、糸からの差別化商品で尾州をアピールした。

◆第12回 Bishu Material Exhibition（2017春夏）

◇会期：平成28年4月19日（火）～21日（木）

◇会場：TEPIA 3階エキシビジョンホール（東京都港区北青山）

◇出展：16社（素材1,500点、ネリーロディ社のトレンド情報による素材183点）

《岩田健毛織・鈴憲毛織・ソトージェイテック・長大・中伝毛織・西川毛織・日本エース・林実業・ヒラノ・ファインテキスタイル・三星毛糸・みづほ興業・宮田毛織工業・虫文毛織・森織物・渡六毛織》

◇来場者：1,651名（サンプルリクエスト数14,935点）

◆第13回 Bishu Material Exhibition（2017/18秋冬）

& 尾州・ヤーン・フェア

◇会期：平成28年10月12日（水）～14日（金）

◇会場：TEPIA 3階エキシビジョンホール

◇BME出展：16社（サンプルリクエスト数15,332点）

（素材1,530点、ネリーロディ社のトレンド情報による素材194点）

《岩田健毛織・鈴憲毛織・ソトージェイテック・長大・中伝毛織・西川毛織・日本エース・林実業・ヒラノ・ファインテキスタイル・三星毛糸・みづほ興業・宮田毛織工業・虫文毛織・森織物・渡六毛織》

◇尾州・ヤーン・フェア出展：11社（サンプルリクエスト数1,648点）

《浅野撚糸・カワボウテキスチャード・近藤・三幸毛糸紡績・滝善・東和毛織・豊島・豊島紡績・ニッケファブリック・長谷川商店・モリリン》

◇来場者：2,090名

2 海外販路開拓

(1) 海外展への出展（11,487,596円）

内需依存から脱却し、ビジネスのグローバル化に対応するため、欧州有名ブランドへの提案を推進し、尾州発メード・イン・ジャパンのPRと海外販路開拓の拡大を図った。

◆第23回 Milano Unica（イタリア）

◇会 期：平成 28 年 9 月 6 日（火）～8 日（木）

◇会 場：フィエラ・ミラノ・ロー

◇出 展：5 社 1 団体（計 7 社）

《長大・遠山産業・中伝毛織・ヒラノ・みづほ興業・チーム岐阜（岩田健毛織・ファインテキスタイル・）》

◇ブース来場社：144 社（サンプルリクエスト数 延 99 社 1,114 点）

◆ インターテキスタイル上海 2017 AW（プレミアム・ウール・ゾーン）

◇会 期：平成 28 年 10 月 11 日（火）～13 日（木）

◇会 場：ナショナル・エキシビション&コンベンション・センター

◇出 展：5 社 1 団体（計 7 社）

《長大・遠山産業・中伝毛織・ヒラノ・みづほ興業・チーム岐阜（岩田健毛織・ファインテキスタイル・）》

◇ブース来場社：83 社（サンプルリクエスト数 延 68 社 600 点）

(2) アパレル企業提携による「尾 BISHU JAPAN」のテストマーケティング（2,817,858 円）

◆尾州生地によるメンズイージーオーダー会（香港・NY）

◇参加企業：9 社

《石慶毛織、葛利毛織工業、兒玉毛織、中外国島、長大、中伝毛織、日本エース、橋本毛織、山栄毛織》

◇会 期：平成 28 年 11 月 2 日（水）～4 日（金）

◇会 場：オンワード カシヤマ ホンコン 他 2 会場

◇販売着数：32 着

◇会 期：平成 28 年 12 月 1 日（木）・2 日（金）

◇会 場：オンワード U. S. A.

◇販売着数：23 着

(3) マッチングサイト参加への支援（ジャパン・バーチャル・パビリオン）

米国のマッチングサイト「ル・スーク」に登録し、企業のグローバル化への支援を行った。（1,157,047 円）

◆3 社 1 団体が参加《時田毛織・中隆毛織・早善織物・尾西毛工》

◇ サンプルリクエスト数：28 社 49 点（H29.3.31 現在）

3 尾州トータルイメージアップ活動

(1) 産地アピールキャンペーン（4,652,254 円）

登録商標「尾州マーク」の活用により、尾州の認知度と存在価値を高め、販路拡大を図った。また、今後の尾州ブランド再構築のための戦略を検討した。

◆使用承認件数 77 件（H29.3.31 現在）（尾州マーク認証制度を開始 H28.4.1）

◇販売実績 タグ 23,015 枚、織ネーム（A）15,370 枚、織ネーム（B）450 枚、

織ネーム（C）90 枚、ピスネーム（A）20 枚、ピスネーム（B）20 枚

(2) 総合展「THE 尾州」の開催事業（7,713,408 円）

JY（53 社）と併催で、JTC 優秀作品展、翔工房、尾張繊維技術センター、一宮商工会議所、尾州産地の企業等（6 社 2 団体）、繊維関連機器企業（4 社）等が出展した。

◆会 期：平成 29 年 2 月 22 日（水）～24 日（金）

◇会 場：一宮市総合体育館 DIADORA アリーナ他

◇来場者：5,745 名

(3) 情報発信事業 (1,439,930円)

ホームページや報道発表・フェイスブックなどにより、産地の行事や概況などを広く内外にアピールした。また、愛知県繊維振興協会（業界団体、企業、学校等）向けに毎月2回WEBマガジン「テキスタイル&ファッション」を発信し、FDC情報、新素材や新技術の紹介、展示会やセミナーの開催案内などの情報提供を行った。また、専門図書やサンプル等を整備し、図書室の充実を図った。

(4) 川下コラボ事業 (2,042,040円)

国内唯一のテキスタイルコンテスト、JTC(ジャパン・テキスタイル・コンテスト)の応募作品などをアパレルデザイナーや小売企業などと連携し、新商品の開発や尾州産地の製品の高級感や優位性を製品化して、一般消費者へアピールを図り、新たなビジネスチャンスを創出した。

〈JTC2015 優秀作品展〉

一般の部入賞作品 21点及びデザイナーとのコラボ作品 13点

◆会期：平成28年4月19日（火）～21日（木）

◇会場：TEPIA 3階エキシビジョンホール「JTC2015 優秀作品展」

◆会期：平成28年5月6日（金）～13日（金）

◇会場：文化服装学院「JTC2015 優秀作品展（学生の部優秀作品含む）」

〈JTC2016 応募結果〉

募集期間：平成28年9月1日（木）～9月30日（金）

応募者点数（2016年度）：248点（一般の部197点、学生の部51点）

〈JTC2016 優秀作品展〉

◆会期：平成28年11月29日（火）・30日（水）

◇会場：JFW JAPAN CREATION 2017の「Bishu Style（尾州産地展）」内（東京国際フォーラム）

◆会期：平成29年2月22日（水）～24日（金）

◇会場：一宮市総合体育館 DIADORA アリーナ「JTC2016 優秀作品展」

〈デザイナー ビジネスマッチング〉

（一社）アパレル・ファッション産業協会（JAFIC）を通じて募集したデザイナーに対し、産地訪問等の支援を行った。（以後2年を含む長期的な支援を計画）

◆対象者：3名

〈ジェイアール名古屋タカシマヤの尾州スーツフェア〉

◆会期：平成28年9月28日（水）～11月1日（火）

◇会場：7F 紳士服フロア（13アパレルブランド）

◇参加企業：8社

《今信毛織、オパレックス、葛利毛織工業、西川毛織、日本毛織、橋本毛織、御幸毛織、山栄毛織》

〈アパレル企業提携による「尾 BISHU JAPAN」のテストマーケティング〉

◆会期：平成28年11月10日（木）～12日（土）

◇会場：オリナス一宮

◇参加企業：9社

《石慶毛織、葛利毛織工業、兒玉毛織、中外国島、長大、中伝毛織、日本エース、橋本毛織、山栄毛織》

◇販売着数：73着

(5) グループ支援事業 (2,324,000円)

- ・匠コレクション製作。総合展「THE尾州」で展示・発表（匠ネットワーク）
- ・「Tweed Run Bishu・Handa 2016」への支援（尾州産地を考える会）

APPEAL（地域の魅力発掘）

アピール事業 (962,460円)

1 地場製品の展示即売

FDC 1階・常設展示場において、各市町村の地場製品の展示・即売を行った。また、「イベント会場」に出展し、尾張西部地域のPRを行うとともに製品の販売を行った。

(1) 常設展示場での市町村観光パンフレットや特産品、マスコットキャラクター商品等によるPR

(2) 地場製品の展示即売

(3) いちのみやリバーサイドフェスティバルへ参加

◆期 日：平成28年5月3日（火・祝）～5日（木・祝）

◇場 所：138タワーパーク

◇内 容：地場産品展示即売・PR

(4) 138ひつじフェスタへ参加

◆期 日：平成28年10月1日（土）

◇場 所：尾張一宮駅前ビル

◇内 容：尾州グッズ展示即売・PR

(5) 138ハロウィン～おりものパレード～へ参加

◆期 日：平成28年10月30日（日）

◇場 所：オリナス一宮の東広場

◇内 容：ミサンガづくり、羊毛クラフトワークショップ

(6) 総合展「THE尾州」会場に地場産品販売コーナーを設置

◆期 日：平成29年2月22日（水）～24日（金）

◇場 所：一宮市総合体育館

◇内 容：東北物産展及び布の市

2 繊維製品の常設展示

春夏、秋冬の年2回、組合等を通じて協力企業から生地・糸を展示紹介した。

ジャパン・テキスタイル・コンテスト（JTC）のグランプリ作品等を展示し、JTCのPRを図った。

3 地域魅力紹介

ホームページや出捐市町村のパンフレットなどにより、その地域の特性や資源を紹介した。

AMUSE（地域住民とのふれあい）

地域交流事業 (238,940円)

1 教室事業

初心者向けカルチャー教室として、モノづくりに関心をもってもらうための教室を開催した。

(1) 手織教室

- ◆期 日：平成 28 年 6 月 14 日（火）～29 日（水）（5 日間）
- ◇内 容：裂き織りでオリジナルコースターを作りませんか。
- ◇会 場：FDC
- ◇講 師：「つむぎの会」石原 敏江 氏
- ◇受講者：10 名
- ◆期 日：平成 28 年 9 月 28 日（水）～10 月 26 日（水）（5 日間）
- ◇内 容：ウールであったかマフラーを織りましょう。
- ◇会 場：稲沢市産業会館
- ◇講 師：「つむぎの会」石原 敏江 氏
- ◇受講者：14 名

(2) ファミリー・羊毛クラフト教室 「愛知の発明の日」関連事業

- ◆期 日：平成 28 年 8 月 18 日（木）
- ◇内 容：① ～羊毛って?!～ ふわふわの羊毛をフェルト化させ、コースターを製作します。
- ②尾張繊維技術センター及び FDC の見学
- ◇講 師：FDC 職員ほか
- ◇会 場：FDC 及び尾張繊維技術センター
- ◇受講者：10 組 20 名（小学生とその保護者）

(3) ファミリー・ミサング教室 「愛知の発明の日」関連事業

- ◆期 日：平成 28 年 8 月 19 日（金）
- ◇内 容：① ～手織体験～ 簡単なキットで織る仕組みを体感
- ②尾張繊維技術センター及び FDC の見学
- ◇講 師：尾張繊維技術センター職員
- ◇会 場：FDC 及び尾張繊維技術センター
- ◇受講者：15 組 30 名（小学生とその保護者）

(4) 出前講座

（一宮市生涯学習講座「出前一聴」）

- ◆期 日：平成 28 年 7 月 12 日（火）
- ◇対 象：今伊勢愛郷クラブ
- ◇受講者 44 名
- ◆期 日：平成 28 年 11 月 8 日（火）
- ◇対 象：ふれあいサロンくわの実（チアフル浅井）
- ◇受講者：16 名

（ミサング出前教室）

- ◆期 日：平成 28 年 8 月 8 日（月）
- ◇対 象：家庭科同好会（大成中学校）
- ◇受講者：12 名
- ◆期 日：平成 28 年 11 月 22 日（火）
- ◇対 象：一宮聾学校
- ◇受講者：20 名

★収益事業

貸館事業 (24,249,119 円) (収入 10,871,217 円) △13,377,902 円

- (1) 営業日：年末年始（12月28日～1月4日）の休館日及び臨時休館日を除く毎日
- (2) 運営経費：光熱水費、賃借料、保守管理費、修繕費等

○事業報告の附属明細書

平成 28 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。